

支援先

表面処理関連企業、機械部品製造業等

表面処理技術研究会

【目的】

表面処理関連企業による新たな表面処理技術の導入や社内製造工程で役立つ品質管理、機械部品製造企業による自社製品に適した表面処理方法の選択などの支援を目的として、研究会活動を行いました。

【内容】

技術情報提供のための「講演会の開催」と、各企業の課題を開発につなげる「技術開発支援」の2本柱の活動を行いました。

(1) 講演会の開催

外部から講師を招いての講演や当センターの研究紹介を行いました。また、実習も交えることで、より効果的に学びを深めることができました。講演テーマについては、会員企業の要望に応えられるよう努めました。

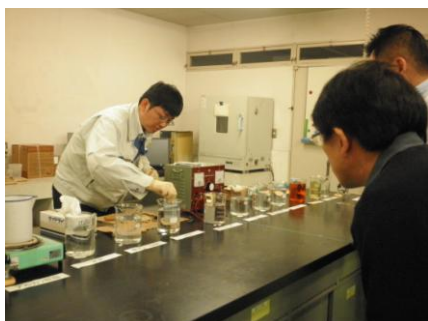


図1 実演の様子 (H29. 3. 10)



図2 講演の様子 (H29. 10. 20)

(2) 技術開発支援

会員企業から提供された試験片に対し、めっき膜厚の経時変化についての検討を行いました。その結果、一部の種類のめっきにおいて、めっき層が拡散している可能性が示唆されました。その他、会員企業から寄せられた、「技術開発したい案件」、「困っている案件」などへの相談対応を行いました。

【今後の予定】

平成 30 年度も開催し、企業の皆様の技術情報収集、技術開発のお手伝いをいたします。

基礎となった事業

平成 28～29 年度 オンリーワン技術開発支援事業（研究会）

現在の担当部門

先端技術部門	部 門 長	大城 靖彦	TEL: 029-293-7495
	主 任	加藤 健	
	技 師	永島 佑樹	
	技 師	安達 卓也	
	技 師	小田木 美保	